

2010年3月期 第2四半期 決算説明会

2009年11月12日

JUKI株式会社

取締役社長 中村 和之

Mind & Technology

JUKI

Mind & Technology

目次

第1部 10/3期(09年度)上期業績

- 1. 上期業績のポイント 3
- 2. 業績推移 4
- 3. 主要財務項目推移 6
- 4. キャッシュフロー推移 7

第2部 セグメント別業績

- 1. セグメント別業績推移 9
- 2. 工業用マシン事業 11
- 3. 産業装置事業 14
- 4. 家庭用マシン事業 17
- 5. 電子・精密機器事業 18
- 6. 精密鑄造事業 19
- 7. その他事業 20

第3部 10/3期(09年度)通期業績予想

- 1. 下期に実施する主な施策 22
- 2. 通期業績予想 28
- 3. セグメント別通期業績予想 29
- 4. 株主還元の考え方 31

第1部

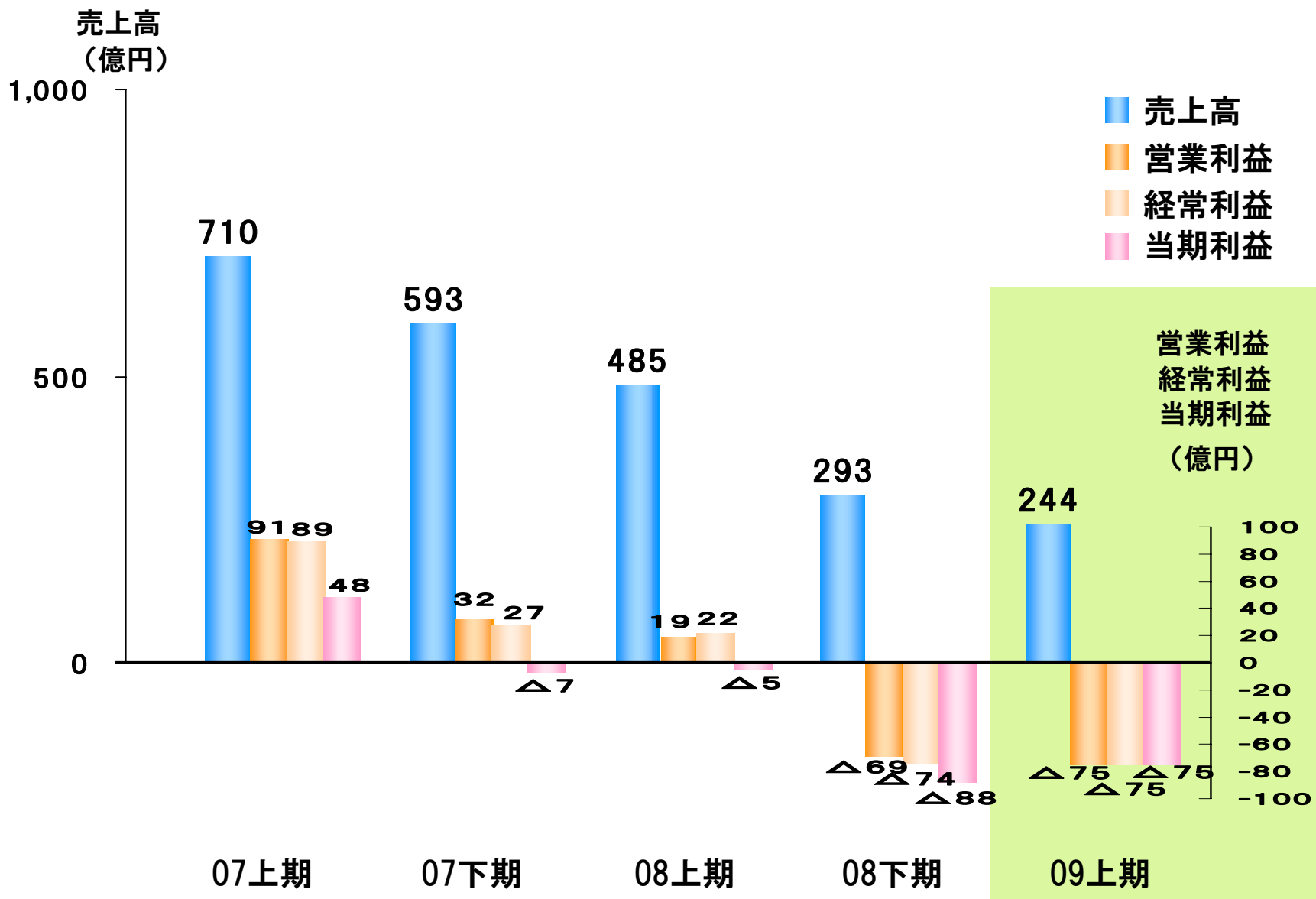
10/3期(09年度)上期業績

売上高は前期比16.9%減少。営業・経常利益は赤字拡大

1. 売上高は244億円(前期比49億円の減少)
2. 営業利益は74.5億円の赤字(前期比6億円の赤字拡大)
経常利益は、金利負担等を営業外収益で吸収し75.3億円の赤字
(前期比1億円の赤字拡大)
3. 当期純利益は、特別損失の縮小もあって74.9億円の赤字
(前期比13億円の赤字縮小)
 - ・リストラ関連及び投資有価証券評価損等による特別損失6億円
4. 中間配当は見送り。期末配当も見送りの方向

(百万円、%)

	08上期 (利益率)	08下期 (利益率)	09上期 (利益率)	08下期比 増減額	08下期比 増減率
売上高	48,531	29,301	24,353	△4,948	△16.9%
営業利益	1,881 (3.9%)	△6,856 (△23.4%)	△7,454 (△30.6%)	△598	△8.7%
経常利益	2,183 (4.5%)	△7,442 (△25.4%)	△7,534 (△30.9%)	△92	△1.2%
(特別損失)	(△2,347)	(△2,288)	(△628)	(1,660)	(72.6%)
当期純利益	△518 (△1.1%)	△8,829 (△30.1%)	△7,494 (△30.8%)	1,335	15.1%
配当	5円/株	0円/株	0円/株	±0円/株	—

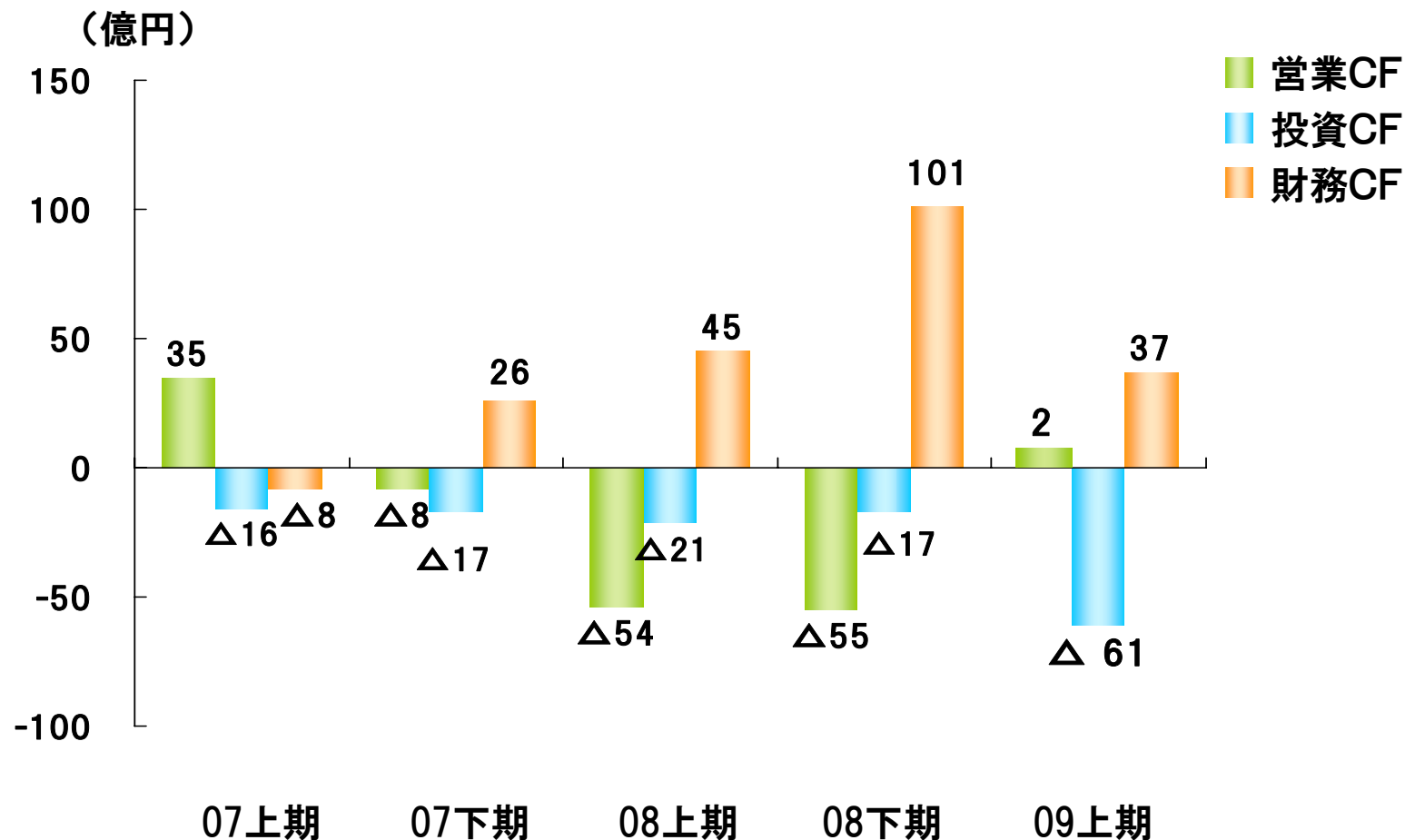



在庫は生産調整により49億円の減。有利子負債は新社屋により48億円の増。純資産は66億円の減 (百万円、%)

	08上期末	08下期末	09上期末	08下期末比 増減額	08下期末比 増減率
総資産	112,407	103,654	94,874	△8,780	△8.5%
在庫	42,885	36,070	31,156	△4,914	△13.6%
有利子負債	46,191	56,001	60,790	4,789	8.6%
純資産	34,889	21,589	15,006	※△6,583	△30.5%
(自己資本比率)	(30.7%)	(20.6%)	(15.5%)	△5.1%	(—)

※純資産△66億円の内訳(利益△75億円、
為替換算調整勘定9億円)

営業CFは在庫圧縮等によりプラスに転化





第2部

セグメント別業績

工業用マシンは微減。産業装置は半減。49億円減少のうち7割が産業装置の減による

(百万円、%)

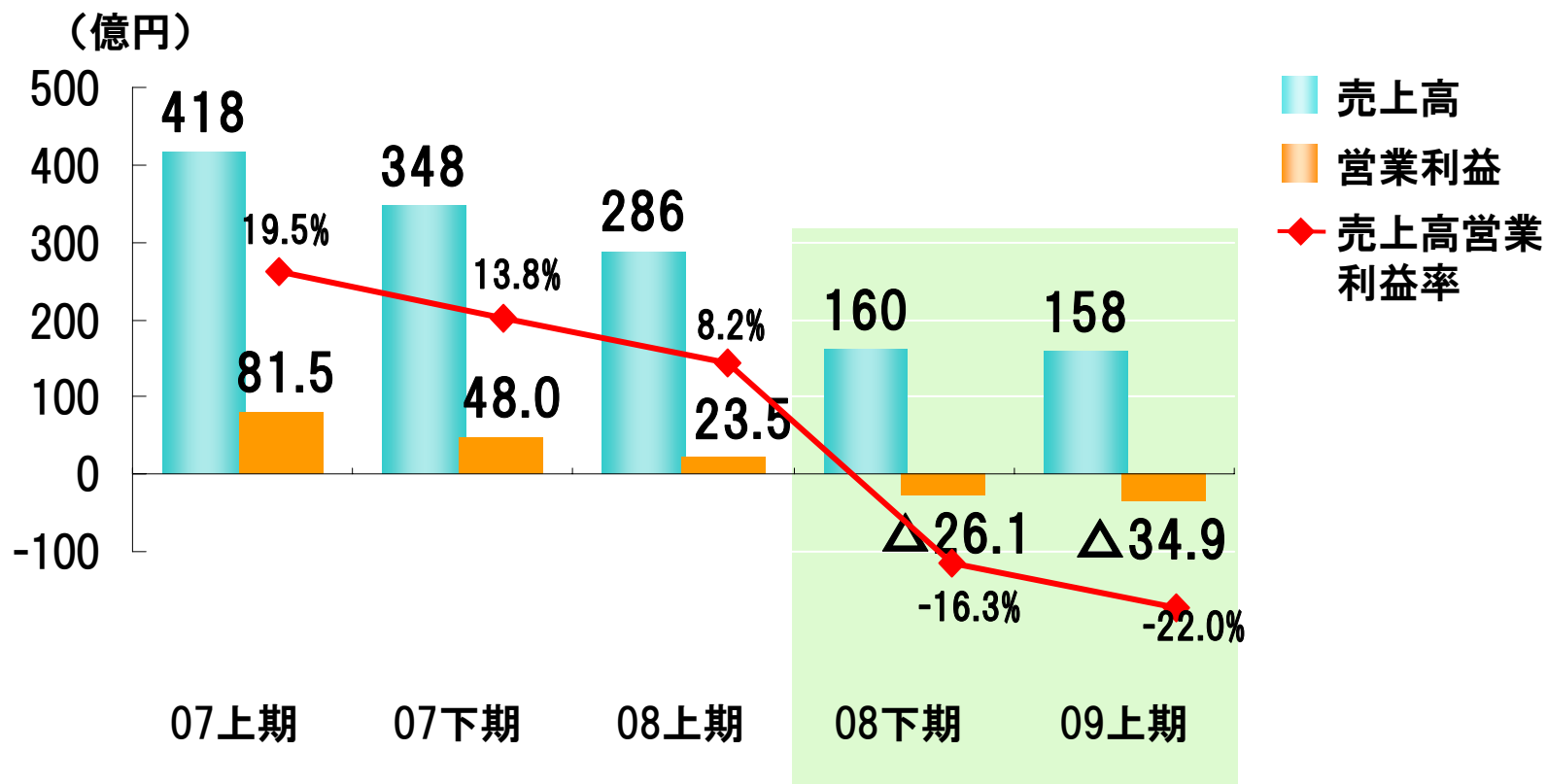
	08上期	08下期	09上期	08下期比 増減額	08下期比 増減率
工業用マシン	28,568	16,016	15,839	△177	△1.1%
産業装置	12,590	7,370	3,844	△3,526	△47.8%
家庭用マシン	1,297	1,059	1,166	107	10.1%
電子・精密機器	3,196	2,143	1,281	△862	△40.2%
精密鑄造	1,933	1,822	1,523	△299	△16.4%
その他	945	890	698	△192	△21.6%
売上高合計	48,531	29,301	24,353	△4,948	△16.9%

工業用マシンは価格政策先行により赤字拡大。産業装置と家庭用マシンはリストラ効果により赤字縮小

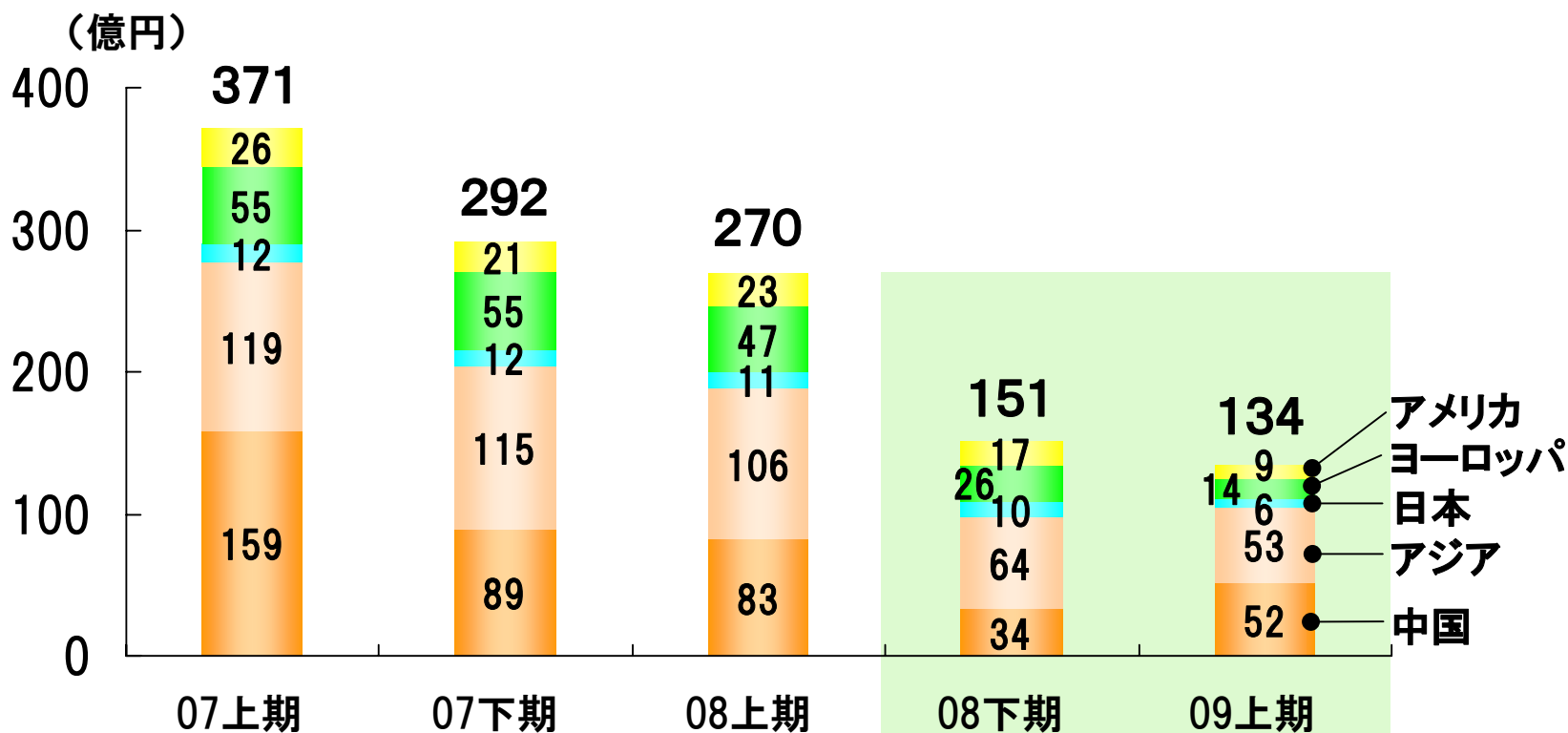
(百万円、%)

	08上期	08下期	09上期	08下期比 増減額	08下期比 増減率
工業用マシン	2,348	△2,606	△3,486	△880	△33.8%
産業装置	930	△2,723	△2,670	53	1.9%
家庭用マシン	△926	△610	△242	368	60.3%
電子・精密機器	332	83	△97	△180	—
精密鑄造	92	6	△4	△10	—
その他	△120	△164	△67	97	59.1%
消去	△774	△841	△884	△43	△5.1%
営業利益合計	1,881	△6,856	△7,454	△598	△8.7%

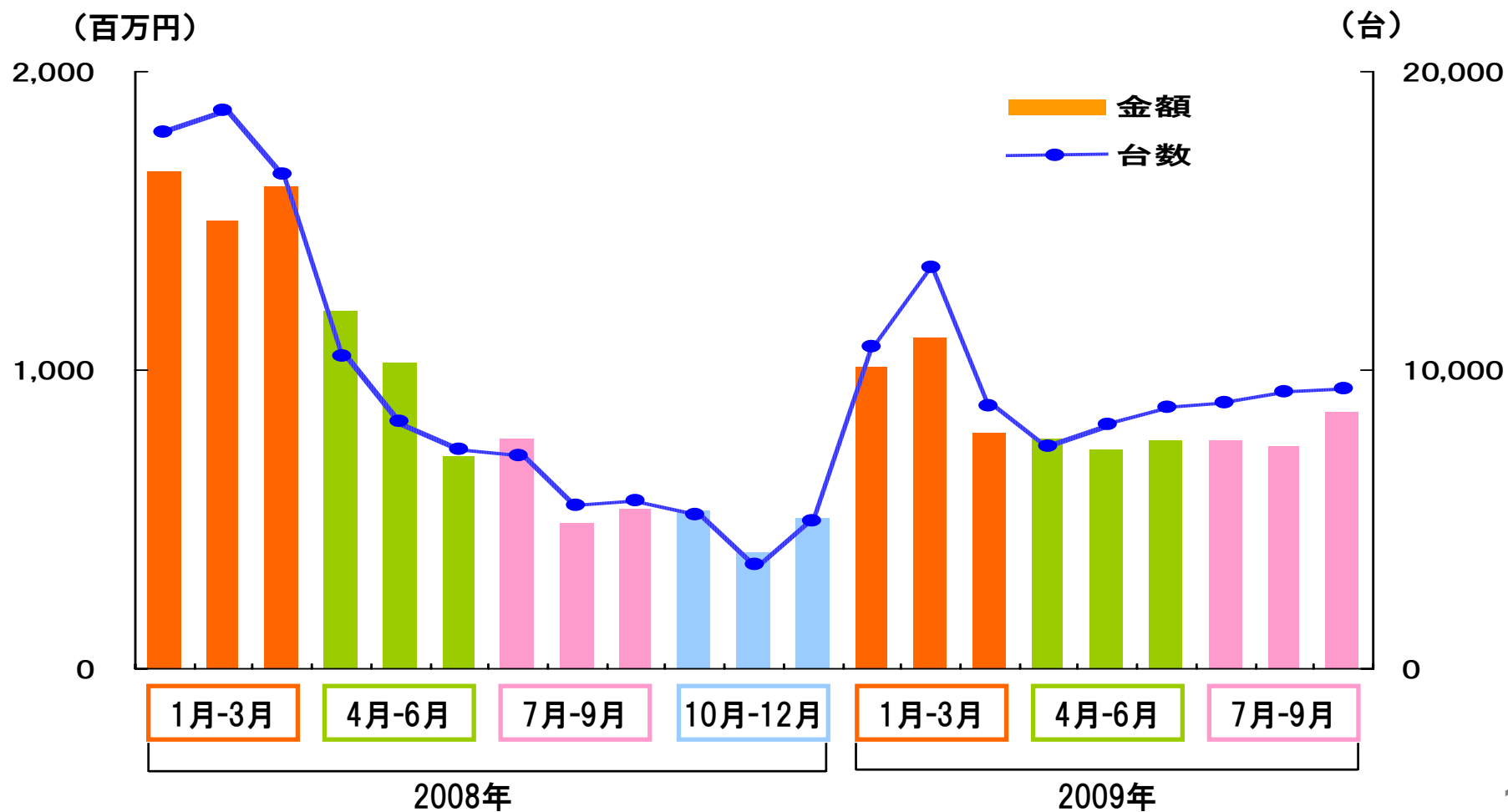
中国の販売拡大により価格政策を吸収し、売上高は前期並を確保。価格政策もあり赤字拡大



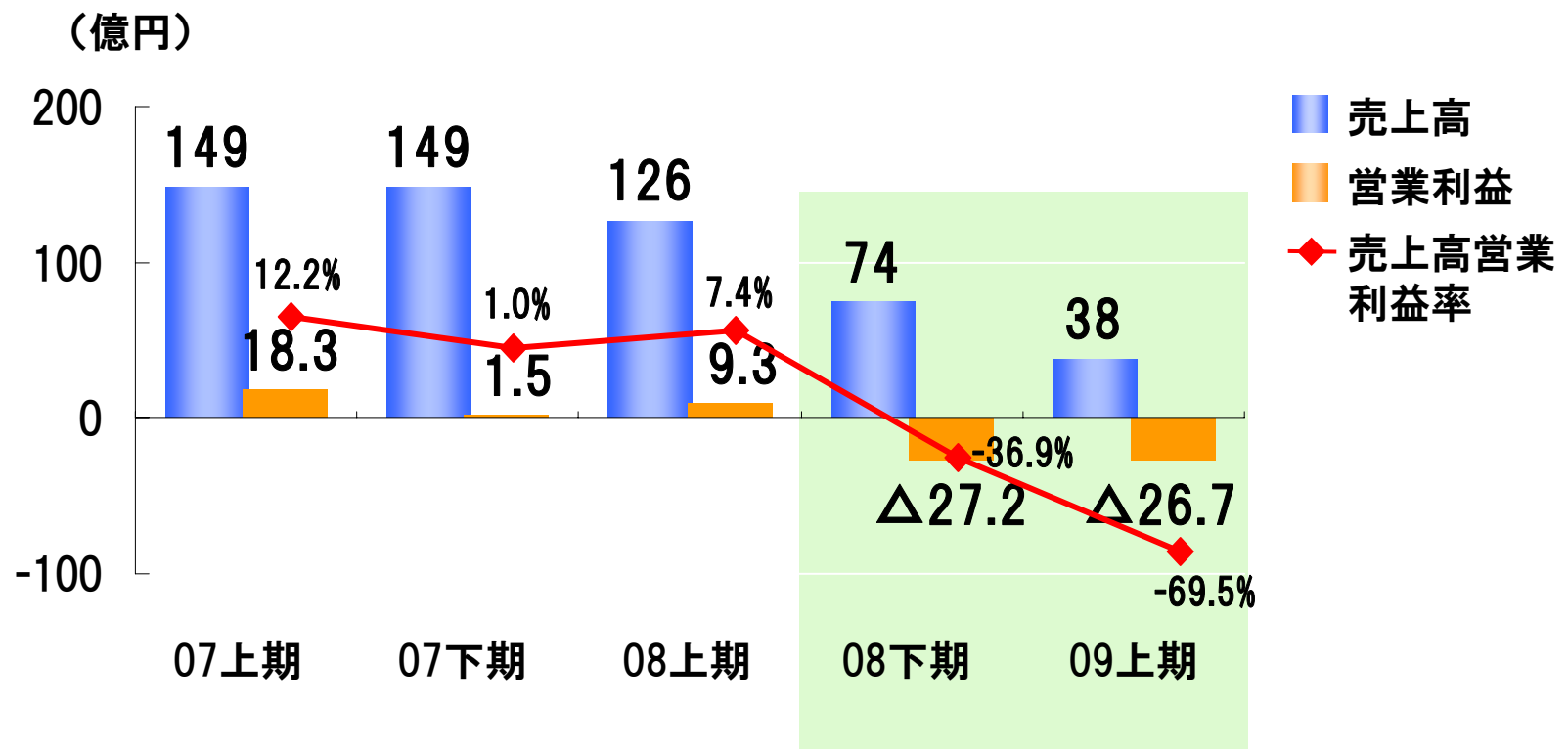
中国は増加。中国以外は全地域で減少



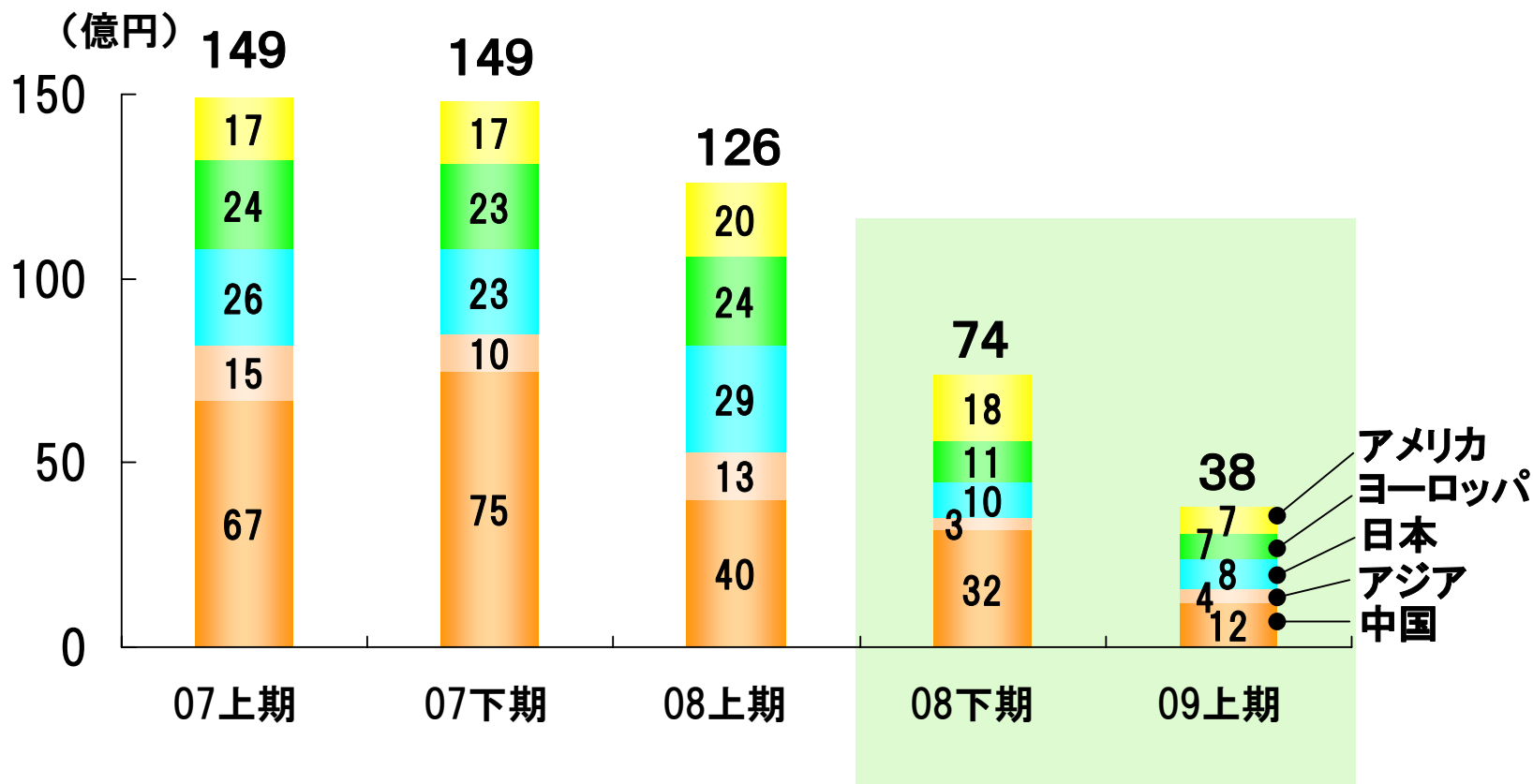
季節需要を背景に09年1-3月は大きく増加。4-6月も内需に支えられ増勢を堅持



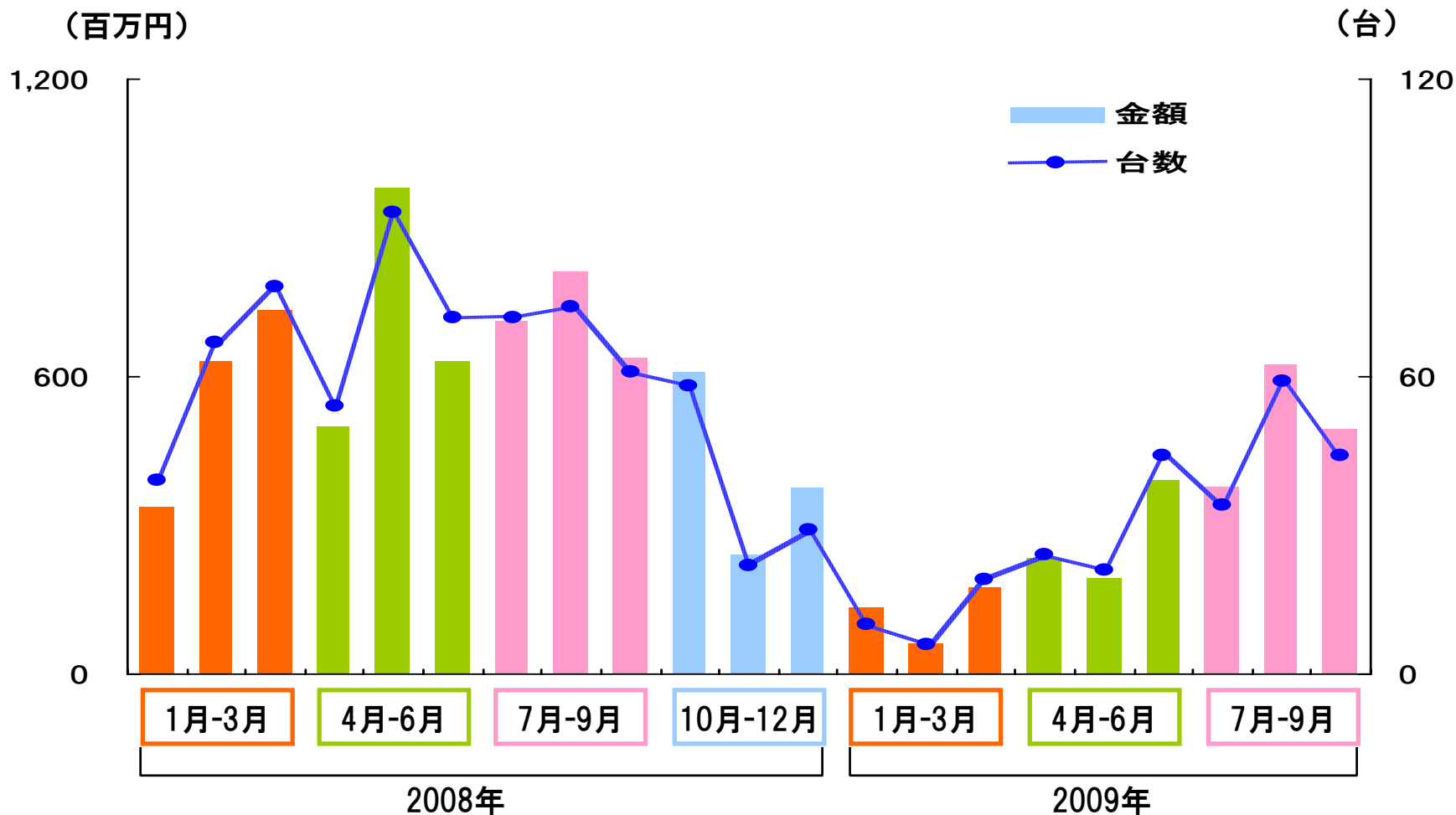
売上高は前期比半減。リストラ効果により営業赤字は縮小



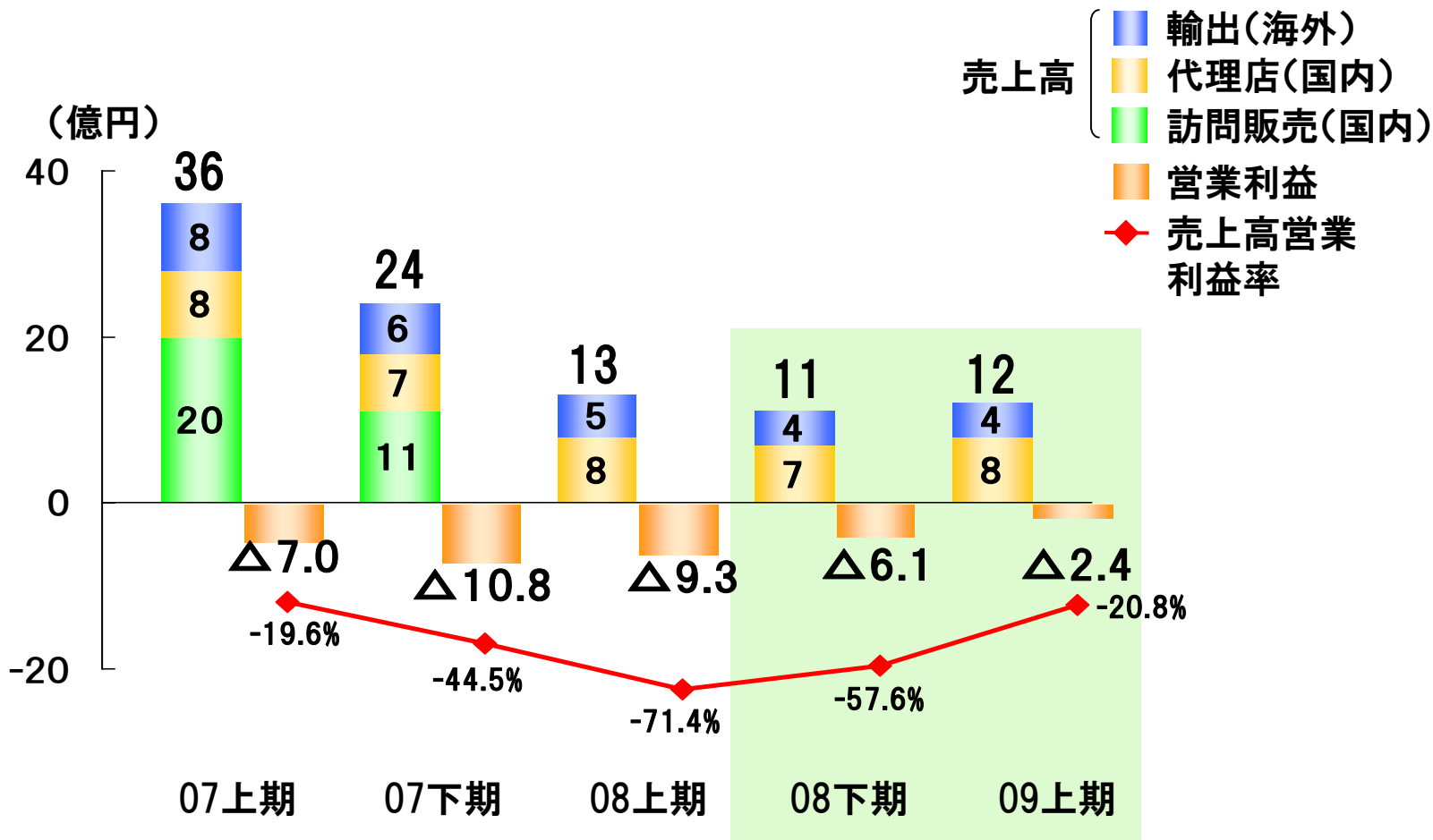
アジアを除き全地域で減少。中国、アメリカは3分の1に



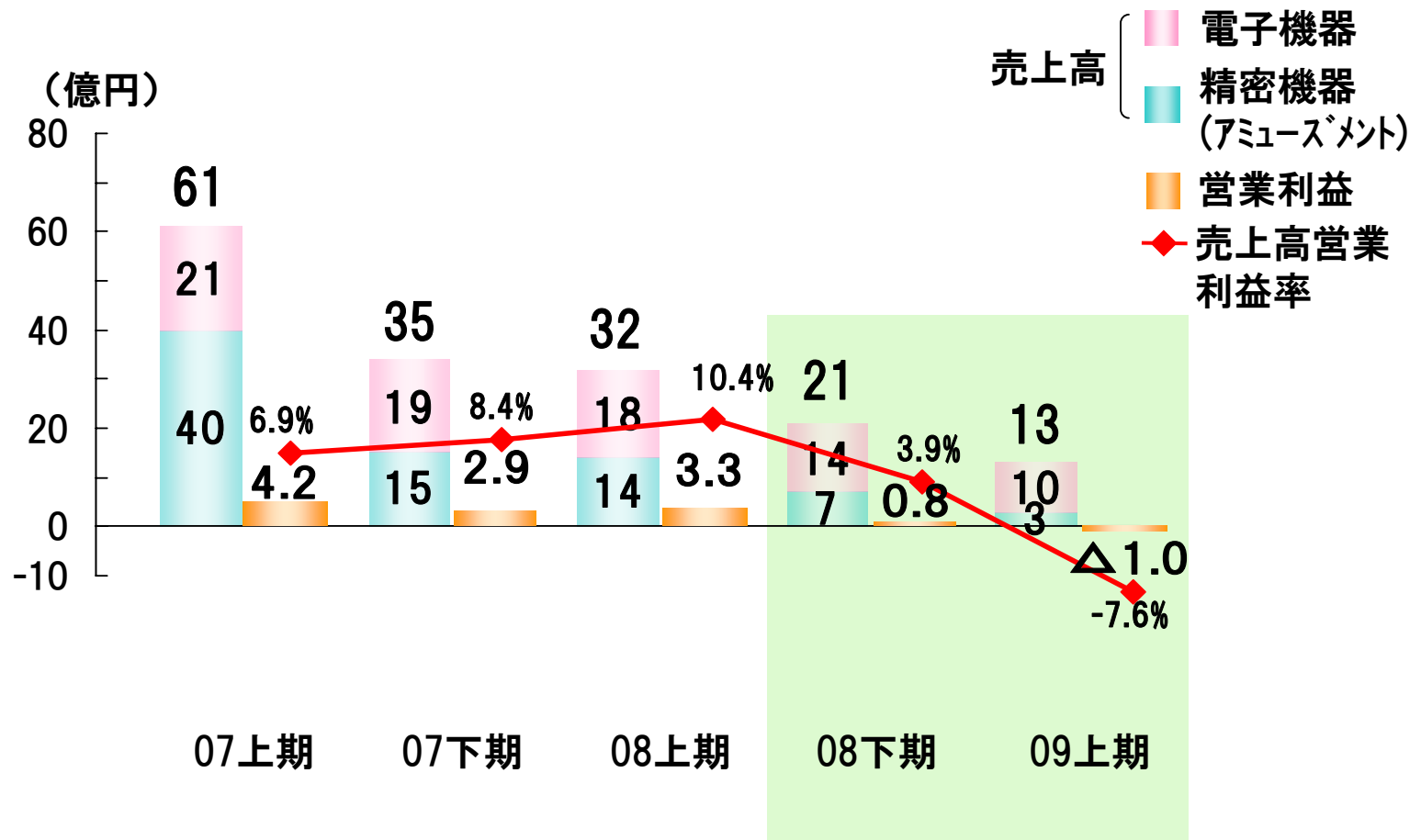
09年1-3月を底に、内需に支えられ増勢に



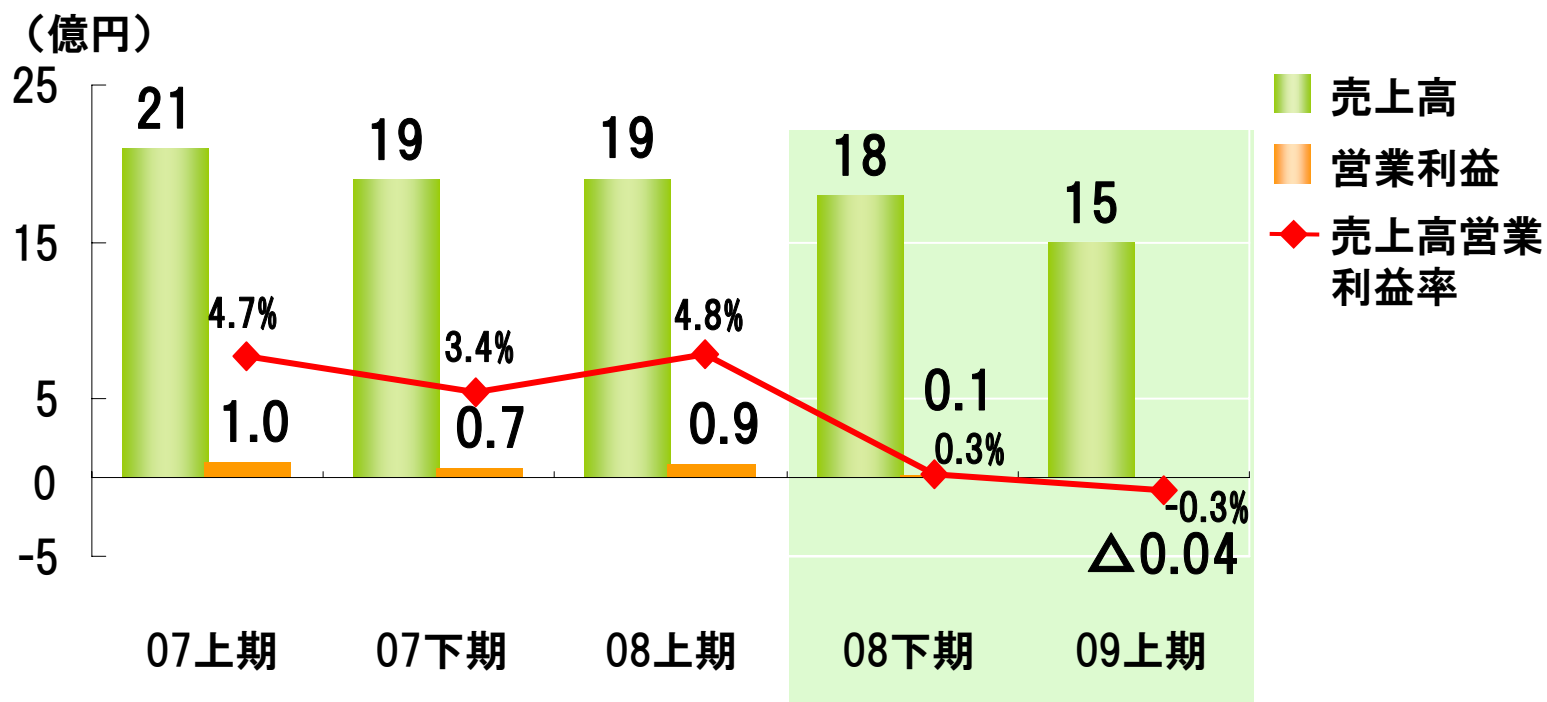
売上高は前期比10%増加。リストラ効果により赤字縮小



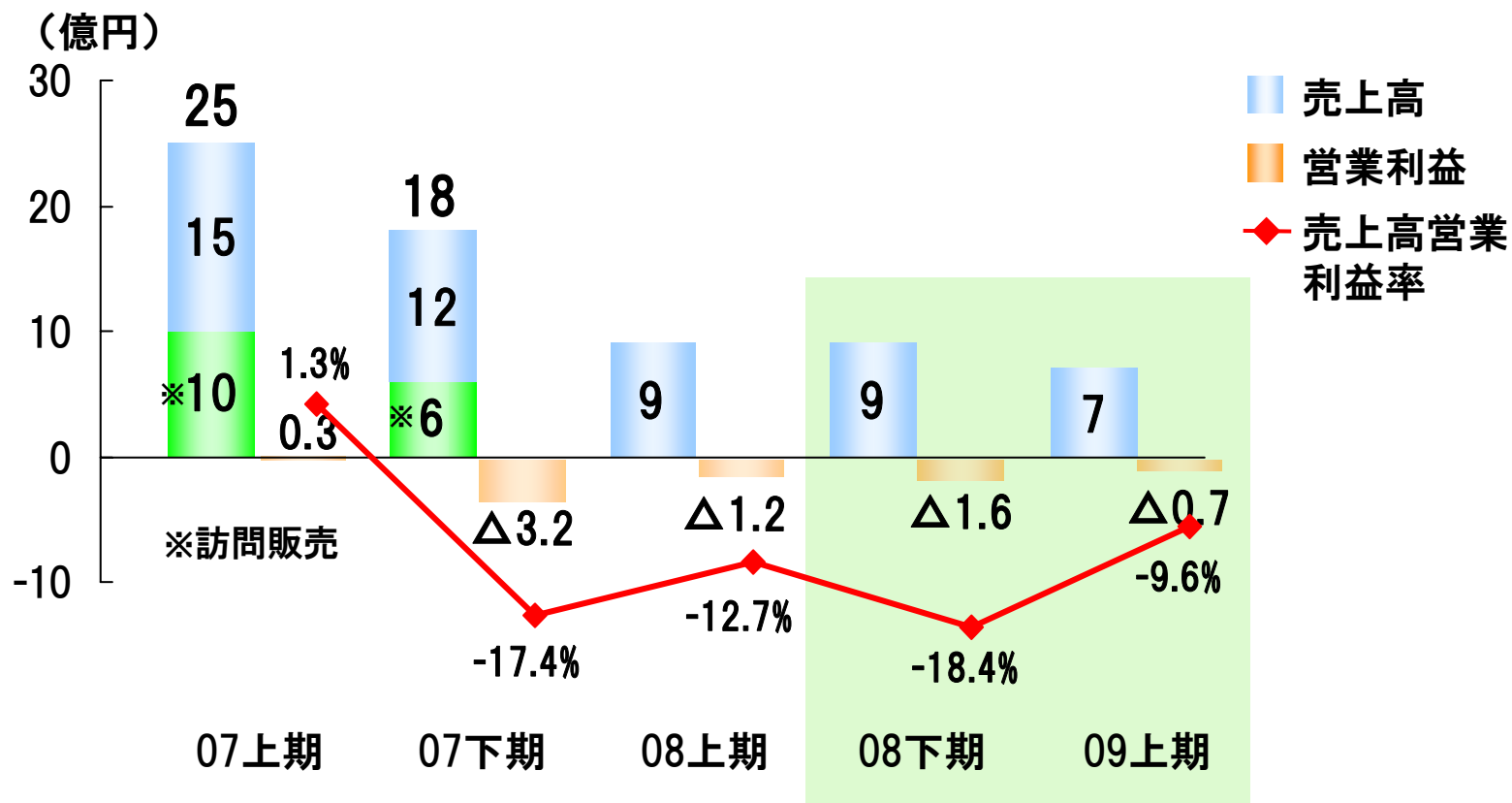
赤字構造に陥っていた精密機器(アミューズメント)は、09年8月に事業撤退



売上高の減少にともない4百万円の営業赤字



売上高は減少。赤字は縮小。 余剰人員関連事業の採算改善が課題



第3部

10/3期(09年度)通期業績予想

● 全社施策

1. 本社組織のスリム化(組織、人員を3割以上削減)

- 16部33課→11部22グループ、300名強→約200名
(09年11月実施)

2. 品質保証戦略の転換

- 新興国内需市場の攻略に向け、お客様のニーズに合った「価格と品質のバランス」をベースに、品質保証戦略を転換
(09年11月実施)



3. アライアンスの活用を検討

- 自前主義を脱し、他社とのアライアンスを幅広く検討

*09年5月21日決算説明会資料より

新興国内需市場対策を軸にシェア拡大を図る

(億円)

市場区分	主たる 競合 メ-カ-	市場規模※ JUKI売上高	商品・販売戦略	2007年 JUKI シェア	5年後の シェア
主要 ターゲット 市場	日本 欧州	1,550 770	・戦略的商品の投入により シェア低下を阻止 (DDL-9000B、MF-7700D等)	50%	 40%
新興国 内需市場	中国 台湾 韓国	850 0	・柔軟な価格政策により市場開拓	—	 30%
その他 市場	日本 欧州	300 0	・新商品(省力機・自動機)の投入 により市場開拓	—	 15%
合計		2,700 770	※競合メーカー19社の売上高(06年度、 07年度)をベースに当社にて推計	29%	34%

下期に実施する主な施策

●工業用マシン事業の施策

1. 商品/販売

(1) 新商品/コストダウン機種種の拡販

① 主要ターゲット市場

- ・本縫基本機種: DDL-9000B(09年9月投入)
- ・環縫基本機種: MF-7700D(09年8月投入)

② 新興国内需市場

- ・本縫廉価機種(DDL-8700、8300)のコストダウン機種種(09年12月投入)

③ その他市場

- ・自動機: ASN-690(09年5月投入)、AE-200A(09年10月投入)

(2) 販売体制：営業第一線への重点的人員配置

① 中国、シンガポール、アメリカの3拠点に執行役員を配置

② 新興国内需重点市場(ブラジル、インドネシア)に拠点を開設

③ その他: 代理店の強化、拡充を推進

2. 開発：開発拠点の役割を明確化し、製造拠点での開発体制を強化

① 大田原: 基本機種種の開発・コストダウン機能を集中

② 東京: 新しい技術を使った革新的新商品の開発に特化

③ その他: JUKI松江、中国、ベトナム拠点の活用(役割の明確化)

3. 製造：海外への生産移管は上期に実施済

*09年5月21日決算説明会資料より

高速機分野への本格的参入により、シェア拡大

(億円)

商品区分		主たる 競合 メ-カ-	市場規模※ JUKI売上高	商品・販売戦略	2007年 JUKI シェア	5年後の シェア
チップ機	高速機	日本 欧州 米国	1,800 0	①FX-3の販売拡大 ②電動フィーダの市場投入	—	 10%
	中低速機	日本 韓国	500 100	・廉価商品の販売拡大	20%	 20%
汎用機		日本 米国	900 80	・新商品(電動フィーダ対応) の投入	9%	 12%
合計			3,200 180	※業界データ(07年度マウンタ本体 売上高)をベースに当社にて算出	6%	12%

下期に実施する主な施策

●産業装置事業の施策

1. 販売

(1)商品

- ①高速機市場:新型FX-3(電動フィーダ対応)の販売拡大
- ②中低速機市場:低価格商品(JX-100)の販売拡大
- ③付加価値商品:新商品(IS、プレースメントモニタ等)の販売拡大

(2)体制

- ①地域別責任体制を明確化:3営業部体制(欧米、アジア、日本)に再編
- ②大手顧客開拓を強化

2. 開発

- ・開発投資の圧縮:秋田地区への開発機能移管を一段と加速

3. 製造

- ・中国拠点(上海工業)の活用

下期に実施する主な施策

●家庭用マシン事業の施策

1. 販売：特約店網の拡充

2. コスト削減

(1)ロジスティクスの効率化

(2)部品調達：中国現地調達の更なる拡大

●精密鑄造事業の施策

1. 販売：発電用タービンブレードや人工関節等を中心に売上高拡大

2. 製造：三極体制を有効に活用し、規模の拡大をはかる

(1)国内

①会津塩川工場：技術力を要する高付加価値ロストワックス部品に集中

②西会津工場：MIM(金属粉末射出成型)部品に特化

(2)海外(ベトナム)：汎用ロストワックス部品の生産を拡大

**通期業績予想を下方修正(10/6)。施策の繰上げ実施等により、
第4四半期黒字化に注力**

(百万円)

	09年度 当初予想 (5/21) (A)	09年度 修正予想 (10/6) (B)	(B-A)	09上期 実績(C)	09下期 予想(D)	(D-C)
売上高	78,000	63,000	△15,000	24,353	38,647	14,294
営業利益	△3,200	△9,000	△5,800	△7,454	△1,546	5,908
経常利益	△4,000	△9,300	△5,300	△7,534	△1,766	5,768
当期純利益	△4,000	△9,300	△5,300	△7,494	△1,806	5,688
為替レート	1ドル:95円 1ユーロ:125円	1ドル:95円 1ユーロ:130円	1ドル:0円 1ユーロ:5円	1ドル:95.98円 1ユーロ:128.33円		

新商品投入、販売体制強化等により売上高拡大を目指す

(百万円)

	09年度 修正予想 (10/6) (A+B)	09上期 実績 (A)	09下期 予想 (B)	(B-A)
工業用マシン	42,500	15,839	26,661	10,822
産業装置	11,500	3,844	7,656	3,812
家庭用マシン	2,400	1,166	1,234	68
電子・精密機器	2,100	1,281	819	△462
精密鑄造	3,200	1,523	1,677	154
その他	1,300	698	602	△96
売上高合計	63,000	24,353	38,647	14,294

削減した固定費をベースに、売上高拡大により利益改善

(百万円)

	09年度 修正予想 (10/6) (A+B)	09上期 実績 (A)	09下期 予想 (B)	(B-A)
工業用マシン	△2,800	△3,486	686	4,172
産業装置	△3,400	△2,670	△730	1,940
家庭用マシン	△300	△242	△58	184
電子・精密機器	0	△97	97	194
精密鑄造	0	△4	4	8
その他	△100	△67	△33	34
消去	△2,400	△884	△1,516	△632
営業利益合計	△9,000	△7,454	△1,546	5,908

1. 配当に関する基本方針

- ・早期の黒字転換をはかり、復配を目指してまいります。

2. 2009年度の期末配当については、見送りの方向

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。
従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。

JUKI株式会社

お問合せ先： 総合企画部 担当：寒川^{そう かわ}

TEL :03-3480-1957 FAX :03-3480-9734

ホームページURL: <http://www.juki.co.jp/>